

国土防災技術株式会社 (Japan Conservation Engineers)

<http://www.jce.co.jp>

緑化事業部 杉本弘道 h.sugimoto@jce.co.jp

JCE JAPAN CONSERVATION ENGINEERS & CO., LTD.

1. 土と水と緑のプロとして

弊社は、土と水と緑に関する優れた技術を追求し、住み良い国土の建設と国民の福祉に貢献する「永遠の会社」を目指すことを企業理念として、昭和41年に設立されました。

設立以来、その理念に沿って山間部における地すべり、山崩れ、土石流などの自然災害復旧の調査・設計・施工を行い、自然な山に戻す業務を行って参りました。

異常気象、温暖化が進む現状から、今後さらに自然環境を重視した業務を行なう必要があると考え、環境緑化、土壌汚染・水質汚染防止技術および森林整備等地球温暖化防止技術の研究に力を入れて技術研究開発を行なってきました。

これらの業務を通し「土と水と緑」を総合評価しその技術を地元住民・自然環境へ還元していることが私達の自慢です。

以下に、その一例を紹介します。

2. 森林調査

健全な土と水と緑にするための手法として、森林整備調査・設計業務があります。森林整備調査では、対象地に生育している植物種のみでなく、植物生育環境を取り巻く土壌、日照、気象なども考慮して総合的に行なっています。

特に土壌環境の理化学性に関しては、とことん追求して技術力を高めています。森林が荒廃することにより植物を支えている土壌は理化学性のバランスが崩れて、土壌侵食が発生しています。また、河川から海へと繋がる水系の影響も懸念されています。これらの複合的な技術を用いて、人工林・里山林の荒廃の現状打開に反映させ、森林整備調査・設計を行なっています。

3. 環境緑化事業

現在、法面緑化には生物多様性・外来生物法・周辺植生への配慮が強く求められるようになりました。そこで、設立以来、行なってきた土木・建設技術・森林調査・土壌調査の蓄積データを活かし、環境へ配慮した緑化関連の技術研究開発を行なっています。その技術を元に、特殊土壌である酸性・アルカリ性土壌での緑化技術向上も図っています。

さらに、環境緑化の一環として、自生植物種の種子採取を地元住民の方々と行い、住民参加型の環境緑化を行なうなど、地域密着型緑化も行なっています。

4. 環境教育

弊社では、森林調査・環境緑化事業を通して蓄積してきた森の知識・技術を地元の子供たちと共有するために環境教育

を実施しています。専門用語の多い技術をいかに判り易く伝えるかがとても大きな壁となりましたが、子供達の楽しそうな笑顔が見られたときがなによりうれしいひと時となっています。

これからも、「土と水と緑」の技術を追求し、その大切さを子供達に伝え、「永遠の社会」を目指して頑張っていきたいと考えています。

| | |
|------|--|
| 商号 | 国土防災技術株式会社 |
| 所在地 | 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号(本社) |
| 設立 | 昭和41年5月2日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 加藤邦雄 |
| 資本金 | 3億4,200万円 |
| 事業内容 | 斜面緑化、環境調査、斜面防災 建設コンサルタント、土壌・地下水汚防止 など |
| 連絡先 | TEL (03) 3436 3673(代) |

